

## In solidarity with the people of Ukraine

Dear Brothers,

As Japan begins to accept people displaced by Russia's invasion of Ukraine, a window to save refugees from Ukraine has been opened in Fukuoka by Ms Yukari Yamashita, Representative Director of Global Life Support Center (GLSC).

You may remember Yamashita san, who helped us with her input on migrants & refugees at our spring meeting in Munakata, three years ago.

Having received an invitation from the desk of GLSC, the Delegation council has decided to provide humanitarian aid to support this cause with the donation of one million yen (100 万).

For further information, please read the attached article in Japanese.

Thank you.

Brad Rozairo

Mar 12, 2022



# 避難民救う窓口福岡に

ロシアのウクライナ侵攻を受け、在留外国人の生活を支援する福岡市のNPO法人「グローバルライフサポートセンター」(山下ゆかり代表理事)が、ウクライナからの避難民受け入れに関する無料相談事業を10日から始める。在日ウクライナ人を対象に、家族ら呼び寄せの際に必要な入国方法の助言や、住居の確保などの相談に応じる。法人は「蓄積したノウハウやネットワークを生かして支援モデルを作り、全国へ広げたい」としている。

## きょうから 入国方法や住居確保 助言

「住まいや心のケアなど幅広く避難民を支援したい」と話すグローバルライフサポートセンターの山下ゆかりさん



公営住宅の提供や相談窓口開設を打ち出す自治体も出ているが、受け入れ態勢の整備が課題となっている。在留外国人統計によると、ウクライナ人は国内に1860人、九州内に112人、福岡県内に81人。相談事業では、避難民の所在地や状況に応じた入国

手続きをアドバイスするほか、入国後の心理的ケアや医療機関の紹介、保証人を必要としない住まいの提供などを想定している。

同法人は既に福岡市と北九州市に約100室の住居を確保。中長期的な在留資格が取得できるようになった場合には仕事の紹介にも応じる考えだ。

支援に当たっては、法人がこれまでの活動で培った日本語教師や医療機関、外国人雇用に詳しい社会保険労務士らの幅広いネットワークを活用する。

住居確保や日本への渡航費用などの資金を調達するため、個人や企業からの寄付も募っている。相談や寄付の問い合わせは同法人092(2883)8880。

(平山成美)